

2016.9.9

【PICAXE編】(08M2)

温度センサー 【超】入門

つぶしの効くIT制御を身に着けよう!!

センサーを利用した環境測定の方法を学ぶ

◇温度を測る → 分圧した電圧を測るのと同じ → センサーが使えるようになる

とても有益な超基本です。

※必須講座 No.205電圧測定

システム構成

◇システムの全体構成 USB-シリアルI/F PC USBケーブル ブレッドボード ***** **** **** **** 温度センサー **PICAXE**

温度センサー

◇LM61CIZ リニアな特性

◇測定範囲:-30℃~100℃ -30℃=300mV

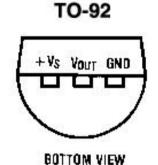
 0° C = 600mV

 $100^{\circ}C = 1600 \text{mV}$

◇温度係数:+10mV/℃

◇動作電圧範囲: +2. 7~+10V





温度センサー(LM61CIZ)

温度 = (センサー出力電圧-600mV) ÷ 1 0 mV

データシート

精度が載っている

主な仕様

■ 精度@ 25℃

±2.0℃、±3.0℃(最大)

C グレード精度(-30 ℃~+100 ℃) ±4.0 ℃(最大)

B グレード精度(-25 °C~+85 °C)

±3.0℃(最大)

検出感度

+10mV/℃

動作規定温度範囲

 $+2.7V \sim +10V$

待機時消費電流@25℃

125 μA(最大)

■ 非線形性

±0.8℃(最大)

■ 出力インピーダンス

800Ω(最大)

データシート

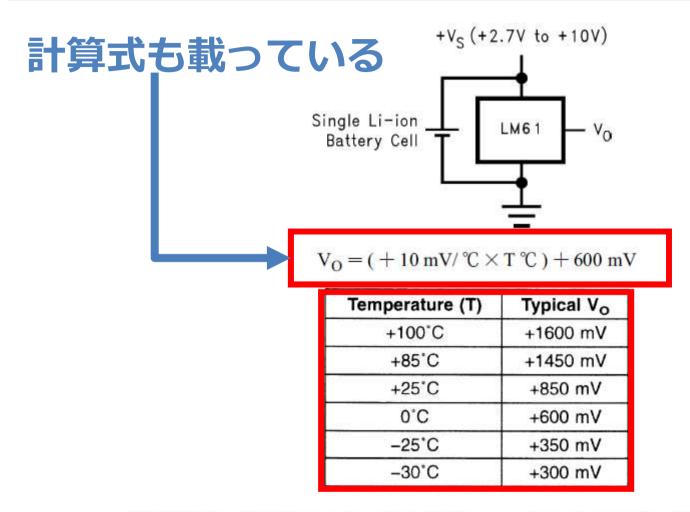


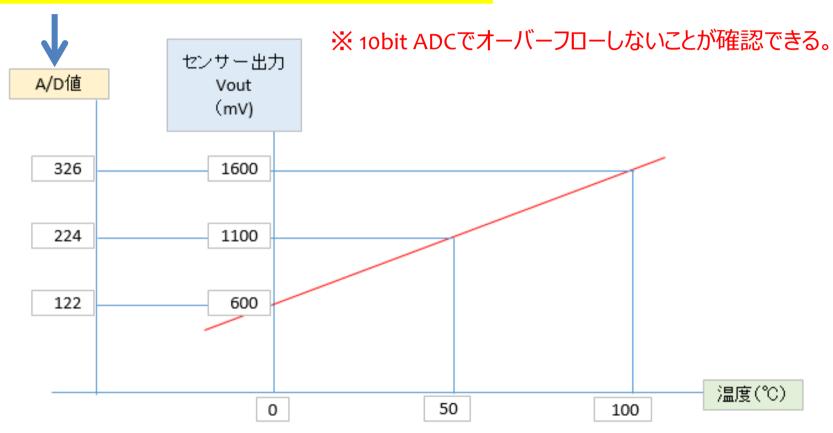
FIGURE 1. Full-Range Centigrade Temperature Sensor (− 30 °C~ + 100 °C)

Operating from a Single Li-Ion Battery Cell

センサーの温度特性グラフ

◇ センサー特性をもとにA/D変換の計画を立てます。

```
o~5000 mV → 10bit = 0x3FF = 1023(10)
分解能:5000÷1023 = 4.9 mV
```



※ 必修講座 No.205 電圧測定

AD値から温度を計算

AD値から温度を求めるには

しかし、PICAXEは整数計算しかできないので、 10倍して少数第一位が整数となるようにする。

AD値×分解能 - 600mV = 10倍の温度 (°C)

さらに、分解能も考慮して、さらに10倍して・・・

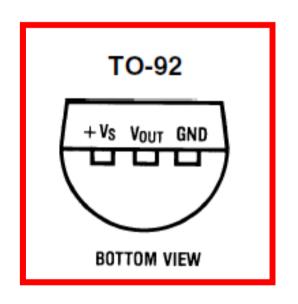
$$AD値 \times 49 - 6000 mV = 100倍の温度(°C) ・・・(A)$$

(A) を100で割り算して、温度(℃)の整数部を求める。剰余をさらに10で割り算して、少数第一位の温度を求める。

※ PICAXEの演算は、常に16 bitで行われるので、計算途中もオーバーフローしないようにすることが求められます。

データシートに戻りましょう!!

ピン配置で配線が分かる



+Vs: 5V

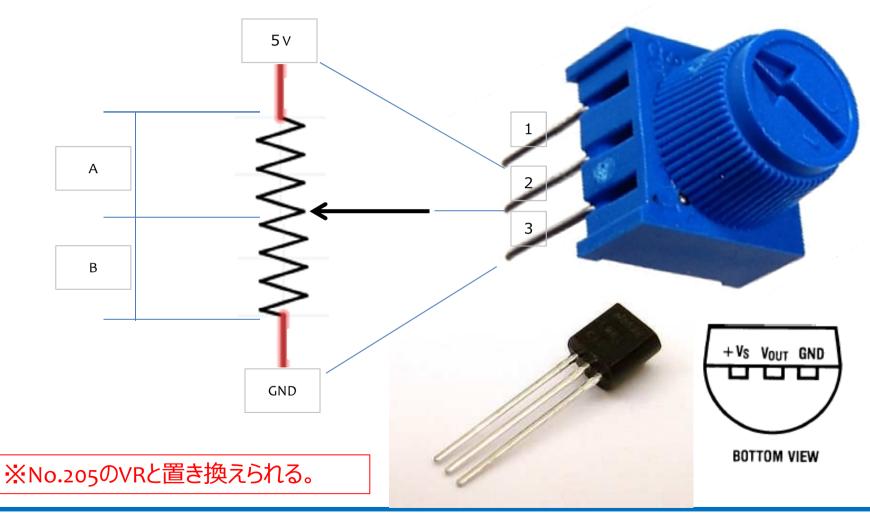
Vout:出力

GND: 0V

9

VRと置き換えができる

電圧を分ける → 分圧



一番小さな PICAXE 08M2 を使う

No.1:電源(3.3~5V)

No.8: GND

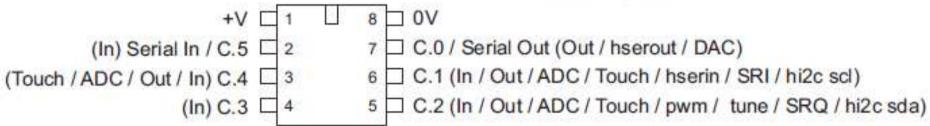
No.2: TxD

No.7 : **RxD**

No.3: Vout

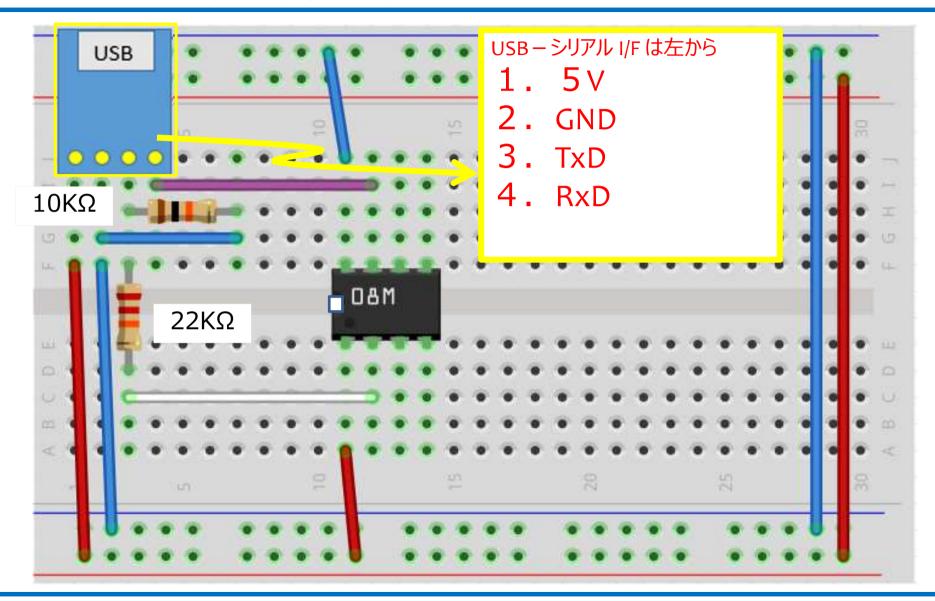


PICAXE-08M2

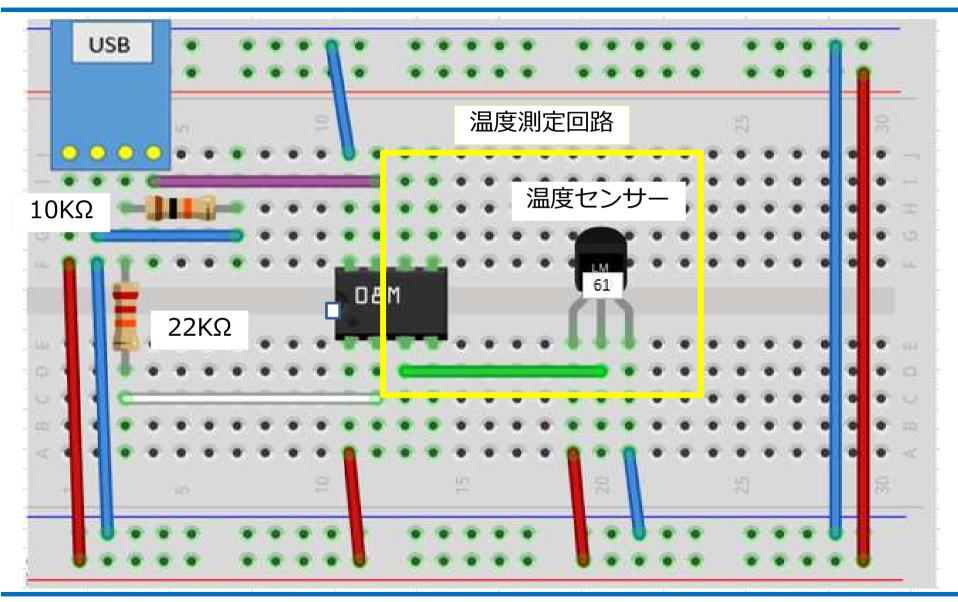


※電源は、USB-シリアルI/Fの5Vを利用

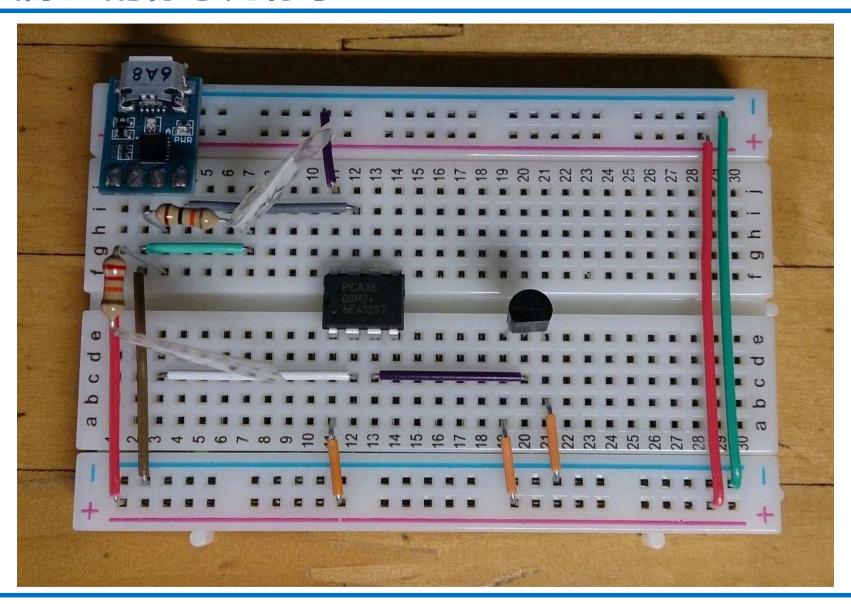
プログラムライター回路



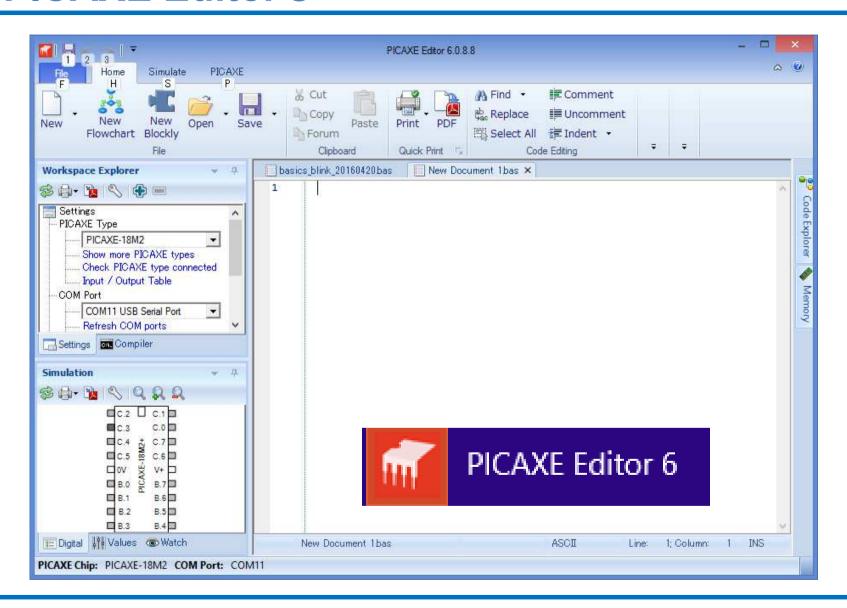
温度測定回路



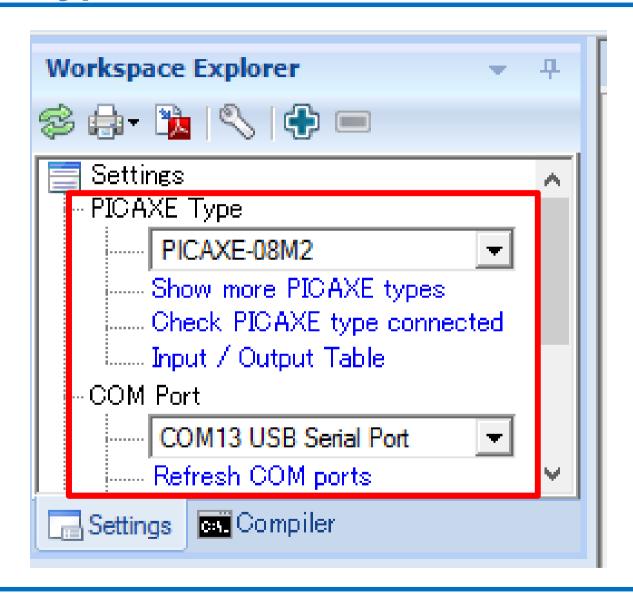
実際に配線した様子



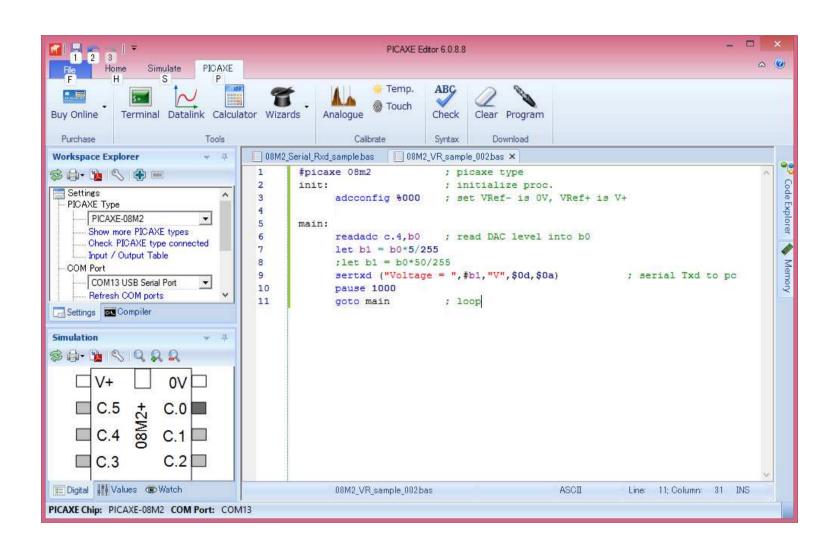
PICAXE Editor 6



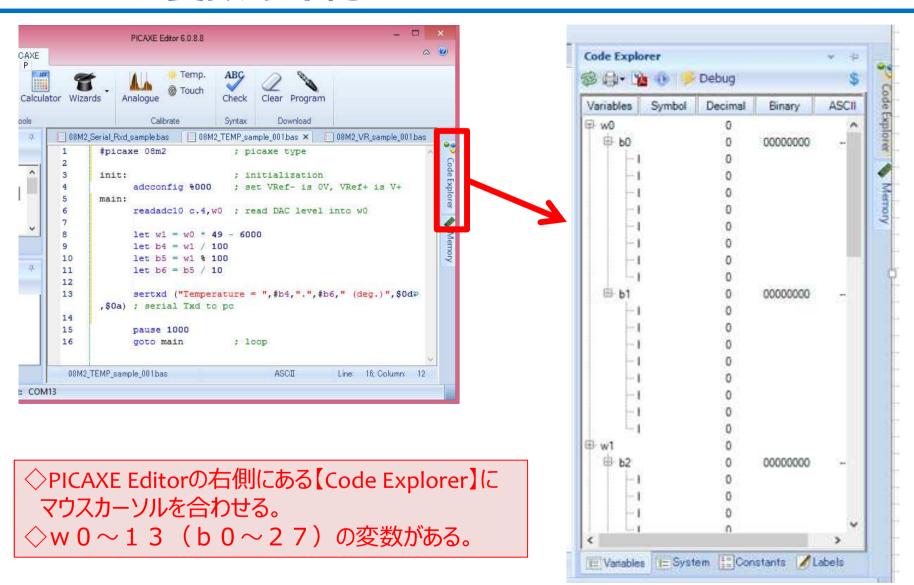
PICAXE Typeの設定



PICAXE Editor プログラミング



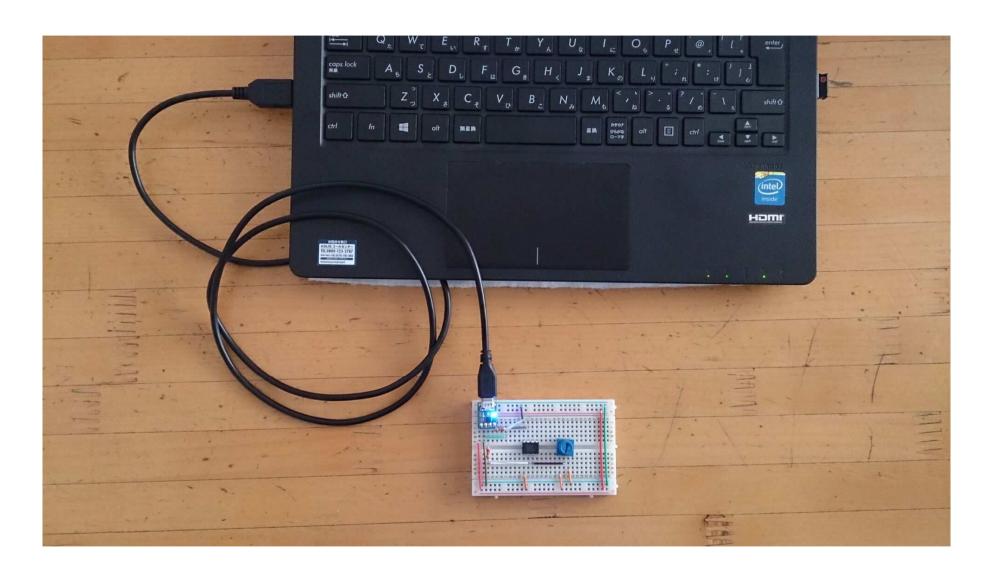
PICAXE変数の確認



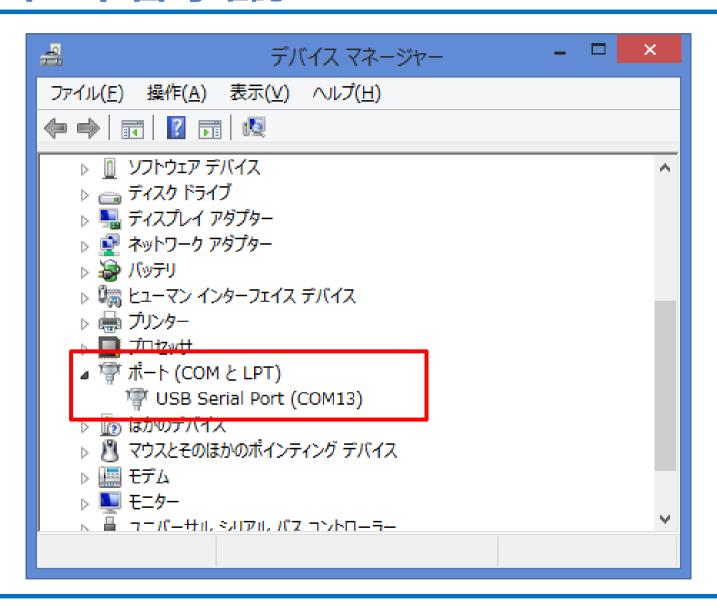
プログラム解説

```
: initialization
init:
     adcconfig %000 ; set VRef- is 0V, VRef+ is V+
main:
     readadc10 c.4,w0 ; read DAC level into w0
                                    ◇49は分解能
     let w1 = w0 * 49 - 6000
                                    ◇6000は0℃のときの出力電圧
     let b4 = w1 / 100
                                    ◇W1:100倍の温度
     let b5 = w1 % 100
                                    ◇ b 5 : 温度の小数部
     let b6 = b5 / 10
                                    ◇ b 6:温度の少数第一位
     sertxd ("Temperature = ", #b4, ".", #b6, " (deg.) ", $0d, $0a) ; serial Txd to pc
     pause 1000
     goto main ; loop
```

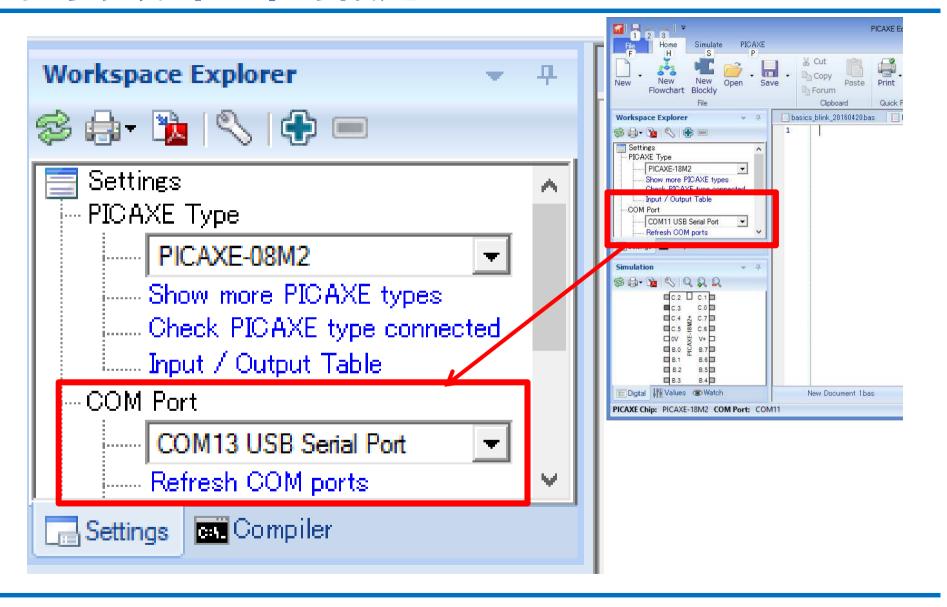
PCと接続します



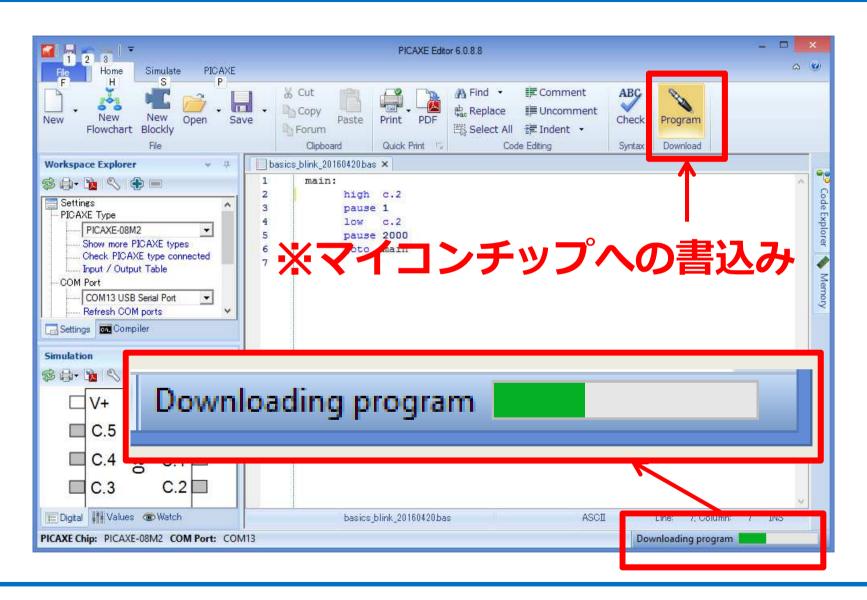
COMポート番号確認



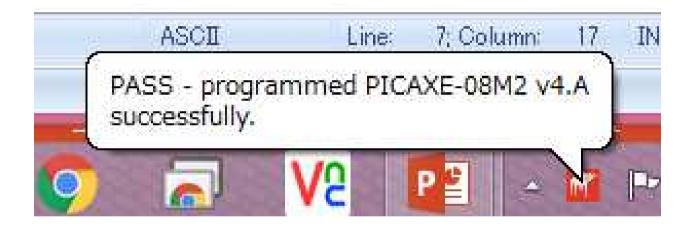
シリアルポートの設定



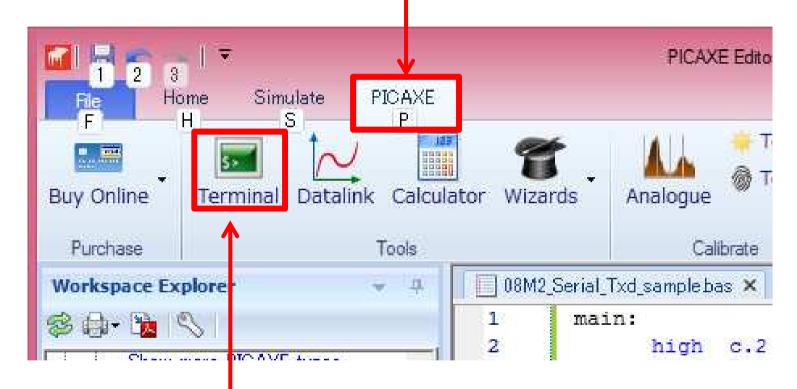
マイコンへの書込み



マイコンへの書込み 成功!!

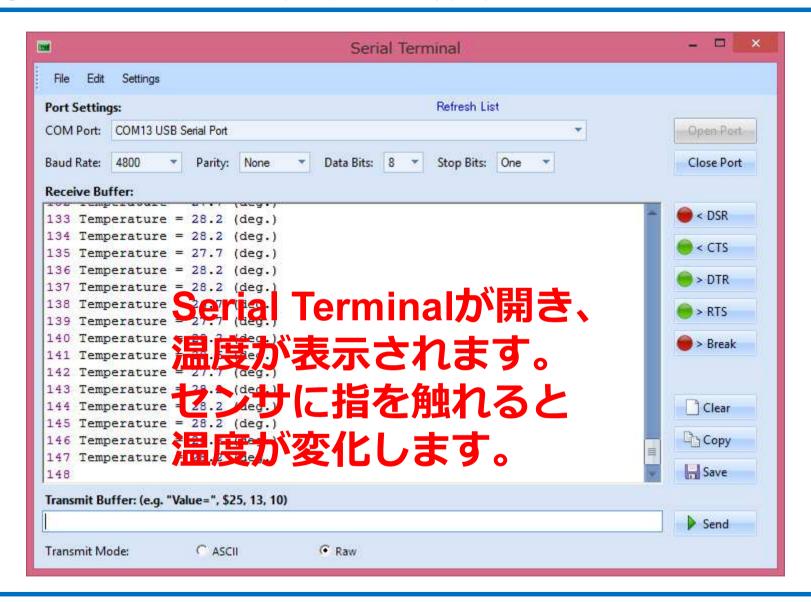


1. ウインドウ上部のPICAXEタブを選択します。



2. 【Terminal】をクリックします。

動作確認 シリアルターミナル

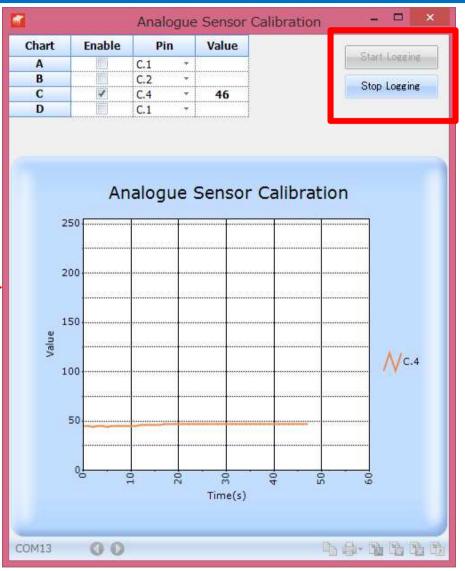


Analogue Data Logging機能

- ◇PICAXEタブ→Analogue
 - → Start Logging
- ◇AD値の変化が グラフに表示される。



◇注意:この機能を 利用した後は、再度 プログラムを書き込んで ください。



マニュアル等

PICAXE Manuals

Yes, we know, most people rarely read a manual before trying to use a new system! So if you just can't wait and want to get an LED flashing straight away, click here for our online jumpstart tutorial

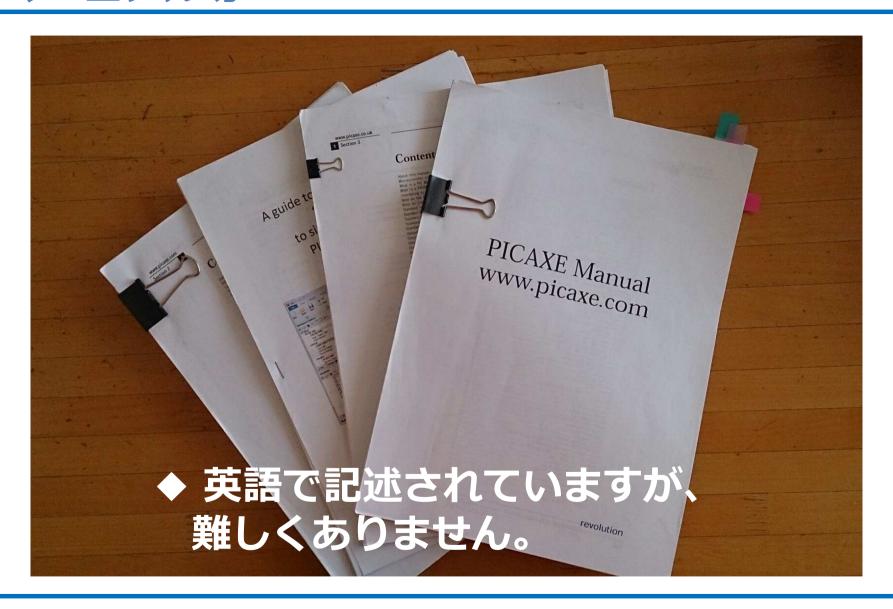
However a lot of time and effort has gone into the PICAXE manuals, so we do strongly recommend you have a browse through the manual, particularly the tutorials in section 1.

The PICAXE manual is divided into four separate downloads:

- Section 1 Getting Started
- Section 2 BASIC Commands
- Section 3 Microcontroller interfacing circuits
- Section 4 Using Flowcharts
- Section 5 Blockly for PICAXE

◇Section2 のマニュアルが大変役立ちます。

マニュアル等



マイコン実習キットII

- ◇PICAXEチップと専用USB-シリアルI/F
- ◇液晶表示器、温度センサーなど



マイコン実習キットII

◇PICAXEチップと専用USB-シリアルI/F

◇液晶表示器、温度センサーなど





2016.9.9